

1 単元名 PROGRAM 9 A Video Project (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

2 単元について

本単元は、交換留学生「サム」の学校に送る学校紹介ビデオにおいて、「武士」がソフトテニス、「桃子」が合唱コンクールについて紹介する内容である。部活動や学校行事は、生徒たちにとって身近な学校生活の活動であり、それらを外国の人に向けて紹介する設定は、自分たちに関することを発信するよい機会になると考えられる。

本学級では、ALT と連携を図り、できる限り英語で説明や指示を行ったり、生徒と教師が英語でインタラク션을多く行いながら教科書本文の内容の確認をしたりするなど、英語に親しむ機会を多くもってきた。また、ペアでの教え合いや学び合いをベースとした Q and A 活動やスモールトーク、教科書の音読練習を多く取り入れてきた。しかし、英語に対して苦手意識をもち、英語で自分のことを表現することに消極的な生徒も多い。従って、前時の復習を毎回十分に行うことや、生徒が楽しく興味をもつようなパワーポイントでの導入、個々のレベルに合わせたワークシート等の教材の活用、振り返りを重視した活動を通して、生徒全員が楽しく学習に参加できるよう工夫を重ねてきた。

本単元における CAN-DO リストの到達目標は、「自分の考えや気持ち、事実等を正しく話すことができる。」である。そこで、新出の比較表現を用いてこれまで以上に表現の幅を増やした内容で話すことができるように支援したい。今年度はこれまで、新型コロナウイルス感染症予防対策として、ペアやグループ活動に制限があったが、飛沫防止シートの使用により、2学期からペア活動が可能となった。本単元ではペアをベースとした学習形態をとり、教え合いや助け合いの場を多く設定することで、苦手な生徒も安心して積極的に授業に参加できるように配慮し、英語学習に対する積極的な姿勢をより一層育みたい。

3 単元の目標

- ・比較表現を用いて、友達と積極的に対話しようとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・比較表現を用いて、適切に自己表現したり、問答し合ったりすることができる。 【外国語表現の能力】
- ・比較表現を用いた英文の内容を正しく理解することができる。 【外国語理解の能力】
- ・比較表現を用いた英文の構造を知り、用法を理解することができる。 【言語や文化についての知識・理解】

4 指導計画 (全6時間)

第1次 形容詞の比較級(-er)の文構造を理解し、運用することができる。・2時間

第2次 形容詞の最上級 (-est)の文構造を理解し、運用することができる。・・・2時間

第3次 形容詞の同等比較 (as~as...)の文構造を理解し、運用することができる。・・・2時間 (本時 1/2)

5 本時の学習

(1) ねらい

形容詞の同等比較 (as-as...) の意味、用法を理解し、身近なことについて伝え合ったり書いたりすることができる。

(2) 研修主題との関連

〈氷見市中教研 研究主題〉コミュニケーション能力の基礎を養うにはどのように指導したらよいか
—聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの言語材料を通して—

コミュニケーション能力を高めるために、新表現を始めから提示し、単にアウトプットさせるのではなく、その必要性や有用性を感じ、相手との対話を楽しみながら習得させることを大切にしたい。英語でのやり取りの機会を多く設定し、自分で伝えたいことを自然に英語で表現できるように取り組ませたい。

(3) 展開

時配	学習活動	指導上の留意点		評価 (方法)
		JTE	ALT	
1	1 Routine ・ALT、JTE からの天気や曜日、日付、その他の質問に答える。〔全体〕		テンポよく明るく話しかけ、英語学習の雰囲気をつくる。	
7	2 Warm up Q and A, Small Talk ・QA book で Q and A を行う。〔ペア〕 ・Small Talk を行う。〔ペア〕		つまづいているペアを支援する。	
10	3 Review reading ・Retell the story (教科書本文の内容確認)〔全体〕 ・Practicing reading(教科書本文の音読)〔ペア〕 ・Reading thoroughly(教科書本文の熟読)〔個人〕		・英語で生徒たちと内容についてインタラクションし、内容を振り返らせる。 ・重要表現をリピートさせ、十分復習させる。 ・机間指導をして、つまづきのあるペアの支援をする。	
2	4 Introduction of the topic ・ALTとJTEの会話を聞き、本時の学習課題を確認する。〔全体〕		理解のレベルに応じたシートで読むよう指示する。	・つまづきのある生徒の支援をする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>Let's use new expression, "as-as".</p> </div>				
12	5 Practice new expression ・クイズに答えながら、新しい比較表現を口頭練習する。		・テンポよくパワーポイントで新出表現を提示しながら口頭練習させる。 ・生徒の興味を引くクイズや例文を提示し、楽しい雰囲気練習させる。	・新出表現を生徒に練習しやすいペースで発音する。
15	6 Expression with using as-as ・身の回りのもので比較して同じものについて即興で表現し合う。〔ペア・全体〕 ・ワークシートで as を用いた表現を書く。〔個人〕		・ペアで as を用いて表現させた後に、ワークシートに会話した内容をまとめさせ、表現の定着を促す。	・机間指導をして、つまづきのある生徒の支援をする。 ・必要な生徒に Tips card を渡す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【外国語表現の能力】 形容詞の同等比較 (as-as...) の意味、用法を理解し、身近なことについて伝え合ったり書いたりしている。 (観察、やり取り、ワークシート)</p> </div>				
3	7 Reflection ・本時の振り返りを行い、宿題の確認をする。〔個人・全体〕		・次時は教科書本文を読み取ることを伝える。	

(4) 授業の視点

新出の比較表現を用いて生徒が教師や友達と活動を行ったことは、自分で伝えたいことを自然に表現させる上で効果的であったか。